

2019年度 京都市立伏見工業高等学校 学校教育目標・経営方針

1. 学校教育目標

- ・学校・家庭・職場が協力し、すべての生徒の可能性を伸ばす教育を行う。
- ・工業高校生として、あるべき学力と社会で活躍するために必要な力を身につけさせる。

2. 学校経営方針

(1) 確かな学力の育成

- ① 基本的な知識・技能の習得…基礎・基本を習得させて学ぶ喜びを体験させる。
- ② 支援の必要な生徒の学力向上…特性を正しく理解した上で、個に応じたきめ細やかな指導を行う。
- ③ 創造する力の育成…向上心を持って、自ら新たな課題にチャレンジし、創造する態度と力を育成する。

(2) 豊かな心の育成

- ① 規範意識の育成…挨拶の徹底や頭髪指導などを通して、マナーやルールの重要性を自覚させる。
- ② 自律心の育成…自分の感情をコントロールし、コミュニケーション能力を育成して、何事も話し合いで解決を図る態度と力を育成する。
- ③ 道德教育の充実…思いやりの心、生命を尊重する心や感謝する心を HR 活動や特別活動を通して育成する。

(3) 健やかな体の育成

- ① 食に関する指導の推進…給食指導を通じて、和やかな雰囲気の中でみんなと一緒に食べる喜びや楽しさを味わい、さらに、良好な友人関係を築けるようにする。
- ② 保健教育の推進…飲酒・喫煙・薬物乱用の害について、正しい知識を身につけさせるとともに、行動に結びつくように、あらゆる場面を通して育成する。
- ③ 安全教育の推進…交通事故の危険から自分を守るための知識と判断力を身につけるため、安全運転講習会を開催するなど、計画的に安全教育の取組を推進する。

3. 今年度の指導の重点

- ① 支援の必要な生徒の特性を理解して、「個別の指導計画」や「個の課題に応じた指導計画」を作成し、きめ細かい指導を行う。
- ② 1・2年次生を対象に、本格的な通級指導に取り組む。
- ③ ICT 機器を活用して視覚に訴える教材を作成する等、分かりやすい授業づくりを心がけ、学ぶことの楽しさを発見できるよう、さらなる授業改善に取り組む。
- ④ 基本的な生活習慣を確立させ、基礎学力とコミュニケーション能力を育成する。
- ⑤ 創造する力と自律心を身につけさせ、生徒の主体性と社会性を育成する観点をもって授業をはじめHR活動や特別活動を行う。
- ⑥ 他者を尊重し、共に支えあう中で、社会の一員として、自らの役割を果たそうとする態度と力を育成する。